

情報公開文書

2023年2月21日作成

Ver.1. 2

食道切除手術における短期治療成績が長期予後に与える影響の検討**1、研究の目的と意義**

食道癌手術は高侵襲の代表格で、術後合併症の頻度は約3～5割程度と非常に高いです。術後合併症が術後リハビリ・療養期間の延長を来し、術後補助療法の適切な導入を逸することとなり、長期予後にも影響を及ぼします。本研究の目的は食道切除術の術後合併症の発生について周術期管理と因子と長期予後の関連について検討を行うことです。

2、対象となる患者さん

2006年1月1日～2026年12月31日の間に、当院にて食道切除術を施行された18歳以上の患者さんが対象となります。

3、研究の方法

下記「4、研究に用いる情報」のカルテ情報を用いて、術後合併症との長期予後との関連、治療経過への関与についてデータ解析を行います。

4、研究に用いる情報

カルテからの情報として、性別、年齢、体重、術前栄養指導の有無、術前併存疾患、術前治療、術式、進行度、術後合併症、治療経過を使用します。画像所見として、術前腹部CT、内視鏡検査、PET検査を使用します。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2032年12月31日

6、外部への試料・情報の提供

該当なし

7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

《研究責任者》

長崎大学病院 胃・食道外科 研究責任者名 小林慎一郎

詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

8.お問い合わせ先

長崎大学病院 胃・食道外科 小林 慎一郎

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7316 FAX 095（819）7319

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616

受付時間：月～金 9：00～17：00（祝・祭日を除く）